

検討会の進め方について（案）

平成27年7月21日

環境省

検討内容

1. 減容技術の現状及び課題とその対応案

- 1) 各技術の特徴、除染率、濃縮率等の評価及び実利用にあたっての課題と対応案の検討
- 2) 処理施設に必要な面積規模及び処理能力の検討
- 3) 前処理、減容・再資源化処理までを含めた処理コストの検討
- 4) 分級システム実証事業の評価及び進捗管理

2. 再生利用に関する課題の検討

（再生利用の考え方（指針等）の策定）

- 1) 再生利用の用途及び用途に応じた再生資材の管理
- 2) 再生資材に求められる要求品質の検討
- 3) 放射線安全性を確認するための評価方法等の検討
- 4) 再生利用促進方策の検討

3. 減容・再生利用等技術開発戦略の検討

- 1) 減容技術の適用の方向性の検討
 - (1) 減容・再生利用する対象物の量、放射能濃度、性状等の検討
 - (2) 対象物に応じた減容技術の適用の検討
 - (3) 適用する技術の開発目標等の検討
- 2) 今後10年間程度の技術開発戦略の策定

除去土壌等の減容とは

除去土壌及び焼却灰を対象に、各種の減容技術を用いて放射能濃度の低いものと高いものに分け、低いものを再生資源とすることで、最終処分すべき量を減らすこと。

再生利用とは

再生資源としたものを各種用途に利用すること。

検討のスケジュール

	平成27年度	平成28年度	平成29年度～
減容技術の現状及び課題とその対応案 ○減容技術の現状評価と課題の検討 ○国直轄型（分級システム実証事業） ○公募型（※）（技術評価事業）	減容技術の現状評価と課題の検討	減容技術の精緻化・情報更新 （分級システム実証事業及び技術評価事業の成果を反映）	
	分級技術に係る各種評価と低濃度生成物のモデル的活用		
	将来活用可能性がある技術の小規模実証・評価		
再生利用に関する課題の検討 ○再生利用の考え方、再生利用促進方策の検討 ○要求品質、安全性評価の実証試験	再生利用のための要求品質・安全性評価方法の検討 再生利用の考え方（指針等）の策定	再生利用促進方策の検討・とりまとめ	要求品質・安全性評価のための実証試験
	全体戦略の精緻化、進展状況のレビュー、戦略の見直し		
	全体戦略の検討		
減容・再生利用等技術開発戦略の検討	全体戦略の検討	全体戦略の精緻化、進展状況のレビュー、戦略の見直し	
検討会等の開催（上記事項の進捗管理等）	7/21 第1回 （平成27年度は検討会を3～4回程度開催予定）	検討会	
	ワーキンググループ		

※除染・減容等技術実証事業（平成23年度より実施中のもの）